



UCIA ニュース

発行 宇治市国際交流協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp

第 94 号
令和5年(2023年)7月

令和5年度総会を開催

令和5年度宇治市国際交流協会総会を4月22日(土)に宇治市生涯学習センターにおいて開催しました。

総会では令和4年度事業報告・決算が承認、令和5年度事業計画・予算が決定されました。

また、令和5年・6年度の理事及び監事が承認され、その後の理事会にて理事の中から会長、副会長を選出しました。

令和4年度事業報告・決算及び令和5年度事業計画・予算並びに新役員の皆様を紙面にてお知らせします。

※令和4年度事業報告
はホームページにも
掲載しています。



宇治市国際交流協会 令和5年・6年度役員名簿

役職名	氏 名	選出団体等 (※は運営委員)
名誉会長	松 村 淳 子	宇治市長
名誉副会長	松 峯 茂	宇治市議会議長
名誉会員	久保田 勇	個人
会長	山 本 正	個人
副会長	伊勢村 紀久子	個人 ※
副会長	小永井 宏 子	個人 ※
副会長	川 野 智	宇治市日本中国友好協会 ※
副会長	矢 野 友次郎	個人 ※
理 事	今 川 博	個人
理 事	城 島 健 治	個人
理 事	西 村 三 典	宇治商工会議所
理 事	塩 見 勇 樹	宇治青年会議所
理 事	水 嶋 眞 美	宇治市社会福祉協議会
理 事	土 井 邦 紘	宇治ロータリークラブ ※
理 事	森 山 繁	宇治ライオンズクラブ
理 事	山 田 敏 信	宇治市スポーツ協会 ※
理 事	西 山 正 一	宇治市体育振興会連合会

役職名	氏 名	選出団体等 (※は運営委員)
理 事	金 丸 公 一	宇治市観光協会
理 事	中 林 和 夫	京都やましろ農協中宇治支店
理 事	清 水 幹 央	宇治市茶生産組合
理 事	柴 田 宗 啓	宇治市茶道連盟
理 事	西 澤 悦 子	朋友館運営委員会
理 事	玉 井 康 義	宇治建設業協会
理 事	田 崎 仁	宇治市造園協会
理 事	藤 井 嘉 男	宇治市芸術文化協会
理 事	奥 村 幸 子	個人 ※
理 事	辻 久	個人 ※
理 事	竹 村 章 治	個人 ※
理 事	永 田 和 彦	個人 ※
理 事	永 谷 和 子	個人
監 事	小 林 幸 大	京都銀行宇治支店
監 事	小 山 茂 樹	個人
事務局長	田 中 真 也	秘書広報課副課長

(令和5年6月7日現在)

令和4年度

【事業報告】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月24日	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりながら、国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に、講演会「京都府における外国人住民の現状と京都府国際センターの取り組み」を開催。	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回(7月、1月)	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布した。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	今年度より管理・運営をさらに充実させ、各種ボランティア募集、加入団体・法人の紹介、日本語教室と各種講座の紹介、イベントの実施を報告した。	
④語学講座	10月26日～12月22日	会員や市民を対象にベトナム語とスペイン語の語学講座を実施した(全8回)。受講生：ベトナム語6名、スペイン語：9名	生涯学習センター
⑤日本語ボランティア養成講座	10月15日～12月17日	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座を開催(全10回)。受講生：15名	総合福祉会館 生涯学習センター
⑥日本語講座	通年	当協会主催の日本語教室を年間を通じて開講した。また、朋友館が実施している中国帰国者のための日本語教室及びスピークサロンが実施している市内在住の外国人を対象にした日本語教室を支援。	
⑦多文化共生事業	1月29日	「うじ国際交流フェスタ～ベトナムの旧正月Tet(テト)を体験～」のイベントを開催。	中宇治BASE
⑧市民啓発・国際理解交流	①7月23日 ②2月19日	①夏休み子ども★わくわくフェア ②宇治まなびんくフェスタ2023に参加。	生涯学習センター

2.友好都市との交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など		毎年5月に来訪していたカナダ、カムループス市、トンブロン・リバーズ大学学生の訪問は、本年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止。	
②友好都市への訪問団の派遣など		本年度もカナダの友好都市カムループス市友好都市協約締結30周年記念事業として市民訪問団募集の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止。	

3.その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	京都府国際及び京都府国際センター共催の災害時外国人支援ワークショップ会議及びWeb会議に出席。10月23日に開催された宇治市主催の防災訓練に出席し、事後には当協会会員の外国人住民の方々と共に「防災座談会」を実施した。	
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
④府・他市町村との連携	適宜	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑤(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	

令和5年度

【事業計画】

1.啓発・研修等事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会を開催する。	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布する。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページに各種講座案内、お知らせ、事業報告等を掲載する。	
④語学講座	11月～12月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。全8回	生涯学習センター
⑤日本語支援ボランティア養成講座	10月～12月	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催。	総合福祉会館
⑥日本語支援ボランティアスキルアップ講座	未定	市内で活動中の外国人に日本語を教えるボランティアのスキルアップを図る講座の開催。	未定
⑦日本語講座	通年	当協会主催で市内在住の外国人を対象にした教室を毎週土曜日に開催する。また、外国人対象の市内の日本語教室を支援する。	総合福祉会館
⑧多文化共生事業	通年	多文化共生に必要な異文化理解の一助として市内在住の外国人と市民との交流会等の開催。	
⑨市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした講座や交流会を開催する。	
⑩滞日外国人に対する防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み。	
⑪各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
⑫関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
⑬府・他市町村との連携	適宜	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑭(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	

2.友好都市との主な取り組み

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	5月下旬	カムループス市からトンブロンリバーズ大学研修生を受入。	
②友好都市への訪問団の派遣など	7月下旬	様々な方向から総合的に検討をした結果、派遣を見送る。	
③来訪者歓迎・海外友好交流促進	適宜	外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市をはじめ海外都市との友好交流促進。	

【決算報告】

収入の部

項目	当初予算額	収入済額	差引増減	説明
1.会費	440,000	453,000	13,000	1 個人会員 112人(内学生1名@千円) 223,000 2 団体会員 16団体 80,000 3 法人体員 15団体 150,000
2.補助金	1,900,000	891,115	-1,008,885	1 協会事業補助 891,115 2 公式市民訪問団派遣補助 -1,000,000 ※新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったため
3.負担金	122,000	95,000	-27,000	1 語学講座参加者負担金 85,000 (@7,000×5人、@5,000×10人) 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 4,000 (@2,000×2人) 3 ベトナム料理教室参加負担金 @500×12人 6,000
4.繰入金	247,000	0	-247,000	1 周年記念事業繰入金 0
5.繰越金	0	0	0	1 前年度繰越金 0
6.雑入	0	23	23	1 預金利息 23 2 寄附 0 3 その他 0
合計	2,709,000	1,439,138	-1,269,862	

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	差引増減	説明
1.会議費	60,000	69,181	9,181	1 総会・理事会・運営部会 69,181
2.事務費	120,000	112,869	-7,131	1 一般事務用品 89,714 2 印刷代 23,155
3.事業費	2,520,000	1,257,088	-1,262,912	1 国際交流講演会 30,000 2 会報発行 145,553 3 ホームページ管理運営 68,084 4 語学講座 258,645 5 日本語基礎講座 309,563 6 日本語ボランティア養成講座 127,492 7 友好都市訪問事業 0 8 友好都市歓迎事業 0 9 海外友好交流推進事業 0 10 提携事業 142,000 11 防災対策事業 11,260 12 周年記念事業 0 13 市民啓発・国際理解交流 166,491 14 小会議 0
4.諸支出金	7,000	0	-7,000	1 構成団体会議出席負担金等 0 2 交流活動事業積立金 0
5.予備費	2,000	0	-2,000	
合計	2,709,000	1,439,138	-1,269,862	

【予算】

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会費	440,000	440,000	0	1 個人会員 @2,000×100人 200,000 2 団体会員 @5,000×16団体 80,000 3 法人体員 @10,000×16団体 160,000
2.補助金	900,000	1,900,000	-1,000,000	1 協会事業補助 900,000 2 市民訪問団派遣補助金 0
3.負担金	70,000	122,000	-52,000	1 語学講座参加者負担金 64,000 2 日本語ボランティア養成講座参加者負担金 6,000
4.繰入金	717,000	247,000	470,000	1 設立記念事業積立金より 0 2 交流活動事業基金より 717,000
5.繰越金	0	0	0	1 前年度繰越金 0
6.雑入	0	0	0	1 預金利息等 0
合計	2,127,000	2,709,000	-582,000	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会議費	60,000	60,000	0	1 総会会場・通信等 60,000
2.事務費	60,000	120,000	-60,000	1 消耗品代 30,000 2 印刷代 30,000
3.事業費	2,000,000	2,520,000	-520,000	1 国際交流講演会 10,000 2 協会ニュース発行 150,000 3 ホームページ管理運営 70,000 4 語学講座 260,000 5 日本語基礎講座 600,000 6 日本語ボランティア養成講座 330,000 7 日本語ボランティアスキルアップ講座 200,000 8 友好都市歓迎事業 50,000 9 提携事業 150,000 10 防災対策事業 30,000 11 市民啓発・国際理解交流 150,000 12 友好都市訪問事業 0
4.諸支出金	7,000	7,000	0	1 構成団体会議出席負担金等 7,000
5.予備費	0	2,000	-2,000	1 予備費 0
合計	2,127,000	2,709,000	-582,000	

※宇治市よりの補助金について、総会当初より40万円の増額が決定し、130万円になります。

トンプソン・リバーズ大学研修生一行来宇

5月24日～27日



宇治市の友好都市カナダ・カムループス市にあるトンプソン・リバーズ大学より、Thomas Waldichuk 先生と Cara Cadre 先生の引率のもと、地理学研修と日本語研修の一環として 14 名の研修生一行が、5 月 24 日（水）～ 27 日（土）にかけて来訪されました。この数年間パンデミックの影響で国際間の往来ができなかったため 4 年ぶりの来訪となりました。

24 日に広島での研修後京都入りされ、夕方京都駅でお迎えしました。日本語が堪能な生徒さんが多く日本語で挨拶をしてくれました。バスで宇治市にある宿に向かう途中、先生も生徒さん達も車

窓から見える高速道路や茶畑について興味を持たれていました。

25 日は朝から宇治市長を表敬訪問されました。Thomas 先生がご挨拶で対面での国際交流の大切さについてお話されていたのが印象的でした。その後、市職員から「宇治市の概要」、「宇治市の都市計画」、「宇治市の歴史と文化」、「宇治茶」について研修を受け、熱心に聞いていただき質問も多く出ました。昼からは平等院に向かい、京都文教大学の学生の案内で平等院周辺のフィールドワークを行いました。マンツーマンで、浮島十三重塔、鶴の飼育場、宇治上神社など各地点で説明を受けたあと、宇治橋通り商店街にあるサテライトキャンパスで振り返りのワークをしました。両大学の学生共にフィールドワークで親睦を深められており、JR 宇治駅での解散時には名残惜しそうでした。市役所へ移動した一行は、ホームビジットに受け入れて下さる方々のお迎えで各ご家庭へ向かいました。各ご家庭では学生たちが楽しめる工夫をしていただき、一行は夕食だけでなく様々な日本のおもてなしを満喫されたようです。

26 日は奈良へ観光とフィールドワークへ向かわれました。夕方は当協会主催の歓迎夕食会を庁舎 8 階の食堂で行いました。会員の皆様に会場準備などにご協力をいただき、オープニングを川野さんと久保さんのマリンバの演奏で飾っていただいた後、食事を囲んで、折り紙、けん玉など日本文化を体験され、参加者の皆さんと友好を深めました。

27 日の朝には宇治から次の目的地へと旅立たれました。

ホームビジットや歓迎会等で多くの方にご協力をいただき、本当にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、一行にとって今回の宇治市滞在は対面での国際交流の楽しさや大切さを改めて感じる印象深いものとなったことでしょう。



※ホームビジットの様子などを
ホームページに掲載しています。



国際交流講演会

今年度も総会に先立ち国際交流講演会を開催しました。今回は熊本市より政策局総合政策部国際課 藤崎千春氏を講師にお迎えし、『熊本市における在住外国人の現状と防災の取組』と題してお話をいただきました。

熊本市よりの講演に先立ち、まず当協会の防災に関する取り組みを川野副会長より説明していただき、次に藤崎千春氏にオンライン出演でお話をいただきました。

熊本市在住外国人の現状として、パンデミック後に過去最高を更新し、市人口の約1%になっているということです。国籍別では中国、ベトナム、フィリピンの順に多く、この5年間でベトナムからの住民が著しく増加しており、また、母語以外のコミュニケーション言語として、英語より日本語のほうが理解できる人が多いということでした。在留資格別では永住者、技能実習生、留学生の順に多く、この5年間で「特定活動」と「技術・人文知識・国際業務」の在留資格者が著しく増加しているということです。宇治市の在住外国人の人口を見ると市全体の1.7%と、宇治市にある大学へ留学生が増えてきていることもあり熊本市と比べて少し多く、国籍別では韓国や中国よりの特別永住者が多いのが特徴といえます。

次に熊本地震の概要について説明がありました。2016年4月14日21時26分にマグニチュード6.5、最大震度7の地震が起き、翌日、国際交流会館に開設していた避難所を閉めた直後の4月16日に再び震度7の地震が発生した、つまり27時間の間に震度7クラスの地震が2回にわたって発生したのです。これは熊本市にとって初めての大地震であったということです。

この大地震で被災された外国人の方々を含めた市民の方々への対応をするべく災害多言語支援センターの開設・運営が4月16日から始まり、当時旅行者を含め38人の外国人の方々がおられた中、30日まで開設されたということです。4月20日からは九州地区全域の多言語支援センターの開設を管轄する担当者が熊本市へ派遣され、普段の生活で使う言葉とは違う災害時の言葉を英語、中国語、やさしい日本語でHPやSNS上に発信されたということです。当初は市内の50数箇所ある各避難所へどのように確実に情報を届けるかということが課題になりましたが、まずは熊本市の庁舎に集めて各避難所へ撤く方法がとられました。他市からの応援ももらいながらイスラム教徒向けハラール食への対応にもあたり、インターネット上でハラール食の寄附を呼び掛けたところ多くの物資が届き、大変ありがたかったです。その保管と分配には苦慮されました。また、チームに分かれて各避難所を回って外国人避難者の人数や在留資格の有無、日本語が理解できるかどうかなどの確認をされました。避難中に冷たい食品が多かったなか炊き出しをした際には、温かくて心と体に健康的な食事だった、として多くの方に感謝されたということです。

次に復旧・復興の状況についてですが、2016年に地震が発生してから2019年度末までにインフラ・施設の復旧がおおむね完了し、現在は、被災者の方々が恒久的な住まいへ移行した後の健康支援や孤立防止など残された課題の解決に取り組んでおられます。また、将来安心して市民が暮らすことができる『真に災害に強いまち』の実現を目指して、・自助、共助、公助の役割の明確化・避難行動要支援者への支援・正確な情報の発信・多様性の尊重・防災教育、熊本地震の日 についての内容を含む熊本市防災基本条例が令和4(2022)年10月1日に施行されました。

最後に多文化共生社会の実現に向けて、在住外国人を対象にした防災訓練を行うなどの①「災害対応」、世界に認められる上質な生活都市をめざしての②「熊本市国際戦略」に基づく事業、また国際交流振興事業団との③「地域日本語教育」に取り組んでいるということでした。

甚大な災害を経験されてその復興に至るまでのご苦労にははかりしれないものがあります。熊本城が再建されたときに市民の皆さんの喜びがひとしおだったということも講演のなかでおうかがいしました。大災害を教訓にして現在でも全国のモデルとなるような取組をされている熊本市から大変参考になるお話でした。

日本語支援ボランティア養成講座、各種語学講座のご案内

今年度も9月末頃より日本語支援ボランティア養成講座、11月頃より各種語学講座を開催予定です。詳細が決定次第、当協会ホームページ、宇治市市政だより、各公共施設でのチラシによりお知らせいたします。皆様のご応募をお待ちしています。

会員募集と会費納入のお願い

当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営活動を活発に行うため、皆様方の会費納入をよろしくお願い致します。

令和5年度の会費納入がまだの方は、振込または事務局にて納入をお願いします。併せて、会員の募集をしています。皆様方のご協力をお願いします。

年会費 個人会員 2,000円 団体会員 5,000円 法人会員 10,000円

【振込先】京都銀行宇治支店普通預金 5089647 受取人「宇治市国際交流協会」

雑観雑感

本年度より運営部会の長としてまとめ役を仰せつかることになりました。前任者同様に精一杯の努力をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私は、「笑顔」という言葉を大切にしています。校長職の時代も先生方に「笑顔」を大切にしてくださいと毎日話していました。先生方が笑顔になると子どもたちも笑顔になる、子どもたちが笑顔になると家庭も笑顔になる、各家庭が笑顔になると街全体が笑顔になると信じているからです。

以前、高山市を旅行していたとき、手書きの書を買っていただける店にたまたま入りました。そこで、「笑顔」と書いた書を見つけたので直ぐに売っていただきました。そのとき、店の女将さんが「日本人で「笑顔」を買われる方は珍しいですね。大抵の日本人客の方は「努力」や「根性」と言った文字を好まれます。」と言われました。逆に、外国の方は、根性などではなく、やはり「笑顔」や「親切」などやさしい日本語文字を購入されますと話されていたのを鮮明に覚えています。

国民性の違いもあるかとは思いますが、コロナ禍で疲れた心には、「笑顔」のような優しい言葉が大切なのではないのでしょうか。

川野 智